

2024年2月7日

大谷グローブ「野球しようぜ！」

林 但



国内の約20,000校の小学校に約60,000個のグローブが寄贈は昨年12月から2024年3月を目途に順次行われ、対象は義務教育学校や特別支援学校を含む全国の小学校とされています。

この寄贈は大谷翔平さんが幼少期から野球好きであったことから行われ、「このグローブによって野球に興味を持つきっかけになってほしい」とコメントをされている。内訳としては右利き用2個と左利き用1個であり、児童同士でのキャッチボールが想定されているようである。

私の自宅近くの支援学校や富士見小学校では、メジャーリーグで活躍する大谷さんから贈られたグローブが年明けに届き、児童らは喜びの声を上げている。支援学校では各学年で触ってもらった後、今は展示中。富士見小学校では、1月9日の朝会で紹介され具体的のどうするかを検討中である。(学校日より1月17日号より)

タウンニュース横須賀には、衣笠小学校ではクラスごとにグローブを回覧しており、自分のクラスに周ってくるのを心待ちにしていた児童が、「これを使ってみんなで野球をしたい」との記事も紹介されている。

そんな中、グローブ使用に関する決まりごとを児童らに委ねる方針の小学校やグローブ寄贈の背景などを知ることを道徳の授業の題材として使用する予定の学校もあるようである。

横須賀市が主催の児童球技大会(ソフトボールは今年から4月開催)や少年野球(夏休み)は、横須賀市出身でプロ野球：広島東洋カープの秋山翔吾さんの支援が昨年から行われていることも記載しておきます。

以上